

子どもの表現を育む保育者養成

—保育内容（表現）におけるミニッツペーパー活用の試み—

藤本逸子*

1. 研究目的

この報告は、本学における「保育内容（表現）」の授業内容の在り方を探ることを目的としている。本年度の当該授業では、毎回の授業終了10～15分前に、ミニッツペーパーに収まる小課題を学生に課した。ここに授業におけるミニッツペーパー活用の試みを報告し、今後の授業改善の一資料とする。

2. 研究方法

(1) 研究対象

平成29年度春学期2年次開講科目「保育内容（表現）」履修者93名中、28名が研究参加同意書を提出した。本報告は、授業回数1～5回の授業内容と上記28名が提出したミニッツペーパーに関する内容をその対象とした。なお、研究対象に関しては、「東海学園大学研究倫理委員会」の審査（受付番号 29-13）を受け、その判定にそって研究を行った。

(2) 研究方法

28名が提出したミニッツペーパーと授業内容を照らし合わせ、ミニッツペーパーに書かれたキーワードから、学生の内的変化の読み取りを行った。

3. 授業内容とミニッツペーパーの課題

平成29年度「保育内容（表現）」の授業内容と、ミニッツペーパーの課題は「表1」のとおりである。

授業回数4回以降は、ミニッツペーパー課題を書き終えた後（描き終えた後）、周囲の学生5～6人、あるいはグループ内（授業回数6回以降は、グループ活動で授業を進めた）で、ミニッツペーパーの記述内容を見せ合い、その感想を記すようにした。それを「シェアする」ということばで学生に課した。

授業回数1～5回は、いわゆる「座学」である。幼稚園教育要領、保育所保育指針の解説に始まり、子どもの発達を理解する内容となっている。授業回数6～15回は、必ず実技が伴う授業内容で、グループ活動が主となっている。

本報告は、授業回数1～5回の「座学」である授業内容時に、学生に課したミニッツペーパーに関するものである。授業を履修している学生が、保育者になったとき、頑なな「～すべき」「～らしく」的な発想や受容で、子どもの豊かな表現の芽が摘み取られたり萎んだりしないよう、実技を伴う授業内容の前に発想力、受容力、想像力、創造力のウォーミングアップを狙って、ミニッツペーパーの課題を出したもので、第1回の授業以外は、授業内容と直接関係ある課題内容ではない。

* 東海学園大学教育学部 教授

表1 「保育内容（表現）」の授業内容とミニッツペーパーの課題内容

回数	月日	授業内容	ミニッツペーパー課題 (表面 横罫15行)	ミニッツペーパー課題 (裏面 白紙)
1	4/11	授業概要説明、幼稚園教育要領・保育所保育指針について	①授業内容の説明を聞く前は、この授業では何を勉強すると思っていたか。 ②今は、どう思っているのか。	自分の似顔絵と自分の特徴
2	4/18	子どもの発達説明	裏面の説明	昨夜寝る直前に聞いた音のイメージを絵にする
3	4/25	子どもの音楽的表現の発達（歌う活動・聞く活動）	裏面の説明	耳を澄まし、教室の内外から聞こえてくる音のイメージを絵にする
4	5/2	子どもの音楽的表現の発達（弾く活動・動く活動・作る活動）	①裏面の説明 ②裏面の絵をシェアした感想	五十音の好きな「行」の音から感じるイメージを絵にする。絵を描き終わったら、座席（自由席）の周り5人ほどで絵を見せ合う（シェア）
5	5/9	子どもの表現の特徴、保育者として必要なこと、日本の幼児音楽教育・世界の幼児音楽教育	①裏面の説明 ②裏面の絵をシェアした感想	教室の窓を開け、木々の緑と5月の風を感じる。その緑と風から感じたものを樹木そのものではない何かの絵で表す。絵を描き終えたらシェアする。
6	5/16	動き（歩く・走る・跳ぶ）・グループ分け	①裏面の説明 ②リズムに合わせて「歩く・走る・跳ぶ（スキップ・ギャロップ）」を経験した感想 ③絵をシェアした感想	「歩く・走る・跳ぶ」から好きな動きを一つ選び、そのイメージを絵で表す。絵を描き終わったら、その絵をグループ内でシェアする。
7	5/23	声と動きのアンサンブル	「歩く・走る・跳ぶ」のリズムと音の個々のグループ発表に対する感想①素晴らしい点 ②もっとよくなる一言アドバイス	自分たちグループを含めたグループ発表全体の感想
8	5/30	他者紹介・動きと音	他者紹介の感想①自分のことを話しやすかったか ②紹介されていたときの気持ち ③他者紹介する前の気持ちと、した後の気持ち	自由な動きと音のグループ発表の感想
9	6/6	絵本「かっきくけっこ」紹介・五十音のイメージを音と動きで表す	五十音のイメージの個々のグループ発表に対する①素晴らしい点 ②もっと良くなる一言アドバイス	①グループ発表全体の感想 ②表面の内容をシェアした感想
10	6/13	自由な動きと即興演奏	自由な動きと即興演奏の個々のグループに対する①素晴らしい点 ②もっと良くなる一言アドバイス	感想について①グループ発表を見聞きして、自分は何を基準として評価しているか ②授業開始時と今では、評価の基準が変わってきているか
11	6/20	動きのみによるアンサンブル	動きのみのアンサンブルの個々のグループ発表に対する①素晴らしい点 ②もっと良くなる一言アドバイス	①一番良かった発表グループ名と、その発表のどこに魅力を感じたか ②自分たちのグループの準備から発表までの過程
12	6/27	うつ・こする・はじく・ふく	新聞紙を「うつ・こする・はじく・ふく」して、音を出す。はじく音以外各音5種類以上の個々のグループ発表に対する①素晴らしい点 ②もっと良くなる一言アドバイス	①自分たちの発表の感想 ②グループ発表全体の感想
13	7/4	新聞紙音楽会	新聞紙のコスチュームをつけた新聞紙音楽会の個々のグループ発表に対する①素晴らしい点 ②もっと良くなる一言アドバイス	表面の内容をシェアした感想①同じ見方や似た感じ方②全く違った見方や感じ方
14	7/11	創作あそび発表準備	創作あそび発表準備、ミニッツペーパー課題無	
15	7/18	創作あそび発表	A4用紙 創作あそび個々のグループ発表に対する①素晴らしい点 ②もっと良くなる一言アドバイス	A4用紙 授業全体の感想

4. 各授業回のミニッツペーパー課題の記述内容

(1) 第1回（4月11日）のミニッツペーパーの記述内容

第1回授業時のミニッツペーパー記述内容は、「表3」のとおりである。資料番号の欄に、通し番号で1～28が打ってあるが、これは、研究対象としたミニッツペーパーの整理番号で、学生の学籍番号等には全く関係がない。したがって、記述内容を見て個人を特定することはできない。

ミニッツペーパー表面の課題として、「①授業内容の説明を聞く前は、この授業で何を勉強すると思っていたか ②今は、どう思っているのか」という課題を出していたが、それに対応する記述は一人しかなかった。それ以外は、「②今は、どう思っているのか」のみに応えていた。ミニッツペーパーの課題は口頭で伝えるので、「聞いていない学生」が多いことが分かった。

表面②「今は、どう思っているのか」に対する記述は、今後の抱負を語っているものが多かった。表面②に記述されたキーワードの頻度をあげると「表2」のようになった。

表2 キーワードの出現頻度

頻度	キーワード	頻度	キーワード	頻度	キーワード
26	表現	7	いろいろ・様々・それぞれ	2	面白い
10	感性	6	個性	2	美しい・きれい
7	楽しい・楽しさ	5	自然	1	評価
7	自分なり・その子らしさ	3	違い	1	スキル
7	感受性・受けとめる・共感	2	創造性	1	感動

資料番号26の裏面は、似顔絵だけで、「自分の特徴」を一言書き添えるという課題に対する応えはなかった。その似顔絵の表情は極端に暗く、また、筆圧も弱く、良い表現ではないが「影が薄い」と感じられる絵であった。何か抱えている悩みがあるのかもしれないと気にしていたが、何事もなく履修を終えた。しかし、授業内での積極的な活動は授業終了にいたるまで目にすることはなかった。

表3 第1回授業のミニッツペーパーの記述内容

資料番号	表 ①授業内容の説明を聞く前は、この授業で何を勉強すると思っていたか。 ②今は、どう思っているのか。					裏 ①似顔絵 ②自分の特徴
	1	2	3	4	5	
1	①音楽交じりのダンス	②豊かな感性	②自分なりの表現	②感受性豊か		②いつも笑顔で、みんなから頼りにされている
2	②様々な見方	②感性	②子どもの表現の特徴	②感動する出来事	②美しいものを伝え合う楽しさ	②音楽好き
3	②教師が受けとめる	②個性を伸ばす仕事	②うまく表現できない子には、ゆっくり寄り添う			②自己表現はあまり得意ではない。人見知り
4	②考え方を型にはめない	②その子らしさ				②お菓子作りや絵を描くことが好き・肩幅が広い
5	②面白い子だねが嬉しい	②自分の個性が認められ	②一人ひとりの個性を			②絵を描くのが好き
6	②恥じらいを捨てて	②表現力	②自分しかできないこと			②集中力がある
7	②子どもたちと共有	②身振りも大きく体で表現	②将来役立つように			②丸顔
8	②子どもの感性を考える	発想を豊かに	子どもの表現を受けとめる感性			②おとなしい性格

9	②自分なりの楽しさ	②取り組み姿勢の違い	②その子に合わせて指導			②明るい
10	②表現の苦手な子が気になる	②障害のある子どもの表現	②表現に気づかなかった後のフォロー			②目つきが悪い、怒っていると思われがち
11	②生徒の個性を伸ばせる先生					②肌が地黒
12	②自分なりに表現	②感性を持つ	②自分の個性を出す	②みんなと違った表現		②前髪がアシメです。
13	②まず、自分の表現を高めて	②自分の個性を出せるよう	②想像力を豊かに	②自然に触れ合う	②一人ひとりの個性を伸ばす	②コメントなし
14	②自分なりに表現	②豊かな感性	②創造性豊かに			②髪が長い、メガネ
15	②自然と触れ合う	②土に触れる機会	②音楽に親しみを持つこと			②いつもスカートをはいている
16	②表現してくれても分からないとき	②表現というコミュニケーション	②多様な面から向き合う			②ほっぺが真っ赤
17	②豊かな感性を持ってもらうためのスキル	②上手より楽しい				②EXILEが好き、ラーメンが好き
18	②豊かな感性	②創造性豊かな	②表現できる力			②ホクロ
19	②表現の違いが面白い	②物事に敏感	②豊かな感性	②自分なりの表現	②友達を見て吸収	②髪色を最近グラデーションにした
20	②子どもの光るもの	②積極的に自分を表現	②自然などから幸福を得る	②思ったことや考えたことを表現する文章力	②いつもと違う周りの見方	②いろんなことにチャレンジしたい
21	②子どもが言葉に表現できないことを言葉に	②共感や受け答え	②発表の場で自分を表現			②目つきが悪いらしい
22	②表現する楽しさ	②子どもたちと一緒に楽しめる				②明るい
23	②失われていく自然	②周囲の自然に目を向け	②表現したいことを表現できる	②子どもと一緒に楽しめる		②みんなと何かを一緒に楽しむことが好き
24	②表現できる楽しさ	②豊かな感性	②創造性まだまだ	②歌うことが好き子どもと一緒に楽しく		②髪がさらさら、めがぱっちり、うたがすき
25	②緑がきれいと言える系女子	②表現をいっぱい全力で	②余裕を持った女性			②帽子、鼻が上を向いて、眉毛が薄い、ちびまる子ちゃん風
26	②いろいろな遊びや工夫を知りたい					②コメントなし
27	②いろいろな表現がある	②子どもの変化に気づく保育士	②いろいろな表現、様々な体験			②視力が良い、虫歯がない
28	②それぞれの表現をとらえられる先生	②いろいろ表現方法を学びたい	②評価のできる先生			②良く笑い、話すことが好き

(2) 第2回（4月18日）のミニツツペーパーの記述内容

第2回授業時のミニツツペーパー記述内容は、「表5」のとおりである。「昨夜寝る直前に聞いた音のイメージを絵にする」という課題であったが、音を出している音源や音の原因となっているもの（例えば、雨・蛇口）を表すものが多く、「音のイメージ」という課題を出した筆者の思惑は、はずれた。音源や音の原因そのものを表した絵を「具体的な絵」とし、音のイメージに近いと感じられるものを表した絵を「抽象的な絵」として、分類した。それらの頻度は、「表4」のとおりである。

表4 「具体的な絵」と「抽象的な絵」の出現頻度

頻度21	具体的な絵	頻度7	抽象的な絵
------	-------	-----	-------

表5 第2回授業のミニツツペーパーの記述内容

資料番号	表裏面の説明			裏 昨夜寝る直前に聞いた音のイメージを絵にする
	1	2	3	
1	AAAの西島隆弘の曲	恋の歌 プロポーズ		具 プロポーズしている絵
2	布団の磨れる音	ふあふあした心地よい音		抽 雲風船
3	道路に雨が叩きつけられる音	水溜りに雨が当たる音	草に雨が当たる音	具 家、道路、水溜り、草
4	嵐のような雨	降り止みそうでないので滝	起きたら晴れていた	具 滝
5	スタンドの電気を消したとき鳴った「パチッ」	外の雨の音「サー」「パチパチ」「ポツポツ」		抽 星型、波横線
6	外で聞こえる雨の音、強い風	ガタガタ音がする窓		具 風のカーブ横線 雨の斜め直線
7	雨の音 風の音			具 雲、雨の斜め線、跳ね返りの雫、風の曲線
8	はげしく降った雨と風の音			具 風の曲線、雨の直線
9	雨 ザーザーのイメージ			具 傘、雫、ギザギザZ線
10	力強い雨			具 斜め直線
11	すごい雨が降ってなかなか寝られなかった			具 雲、雨の直線
12	洗面場での歯磨きの音水の音			具 蛇口
13	雨	今日は天気がいいので昨夜は雲が泣いているよう		抽 雲の泣き顔、雫、短い直線
14	雨が傘や地面に当たる音	楽しくも、哀しくも感じた		具 傘に音符 雲から斜め直線
15	雨と風			具 雫と風の曲線 ザービュー
16	電車の音	窓の方からコトコト小さく聞こえた		具 寝顔、窓、走る電車
17	電話をしながら寝た			具 スマートフォンの画面
18	閉店間際になって来客の音がした	びっくりした顔		具 目を見開き口をあけたびっくりした顔
19	雨で風が強く	窓から隙間風		具 窓、外の雨、内に吹き込む風の曲線
20	猫の大きな鳴き声			具 猫、音が広がるようなギザギザ線
21	かえるの鳴き声をして気持ちよく寝た	雨が降っていた		抽 小さい丸、ギザギザ横直線
22	雨が強く風も強かった			抽 ギザギザ続くZ線
23	庭から虫の声	揺れる草の音		具 月、星が光る夜空、木々の間に音符、柵
24	雨と風	風で窓がガタガタ	雨はザーザー	具 布団に寝ている人、雲、雨、風、窓
25	Mr.Green Appleの曲を聴きながら寝た			抽 デザインされたM
26	雨や風がうるさかった	窓もガタガタ		具 風の曲線、揺れる木、大粒な雨
27	ぎりぎりまでテレビを見ていた			具 テレビの絵
28	バラード的な歌	歌のイメージが夕方ごろの海		抽 砂地に陽が沈む、手前に波

(3) 第3回(4月25日)のミニツツペーパーの記述内容

第3回授業時のミニツツペーパーの記述内容は、「表7」のとおりである。当日の授業において、研究参加同意書を提出した学生の内、2名が欠席したので、資料番号は、26までである。

「耳を澄まし、教室の内外から聞こえてくる音のイメージを絵にする」という課題であった。教室内の自分の周りの音だけを聞いていた学生と、教室内も教室外の比較的近い音も遠い音も聞いていた学生もいて、興味深い内容となった。

「具体的な絵」と「抽象的な絵」に分けた絵の頻度は、「表6」のとおりである。

表6 「具体的な絵」と「抽象的な絵」の出現頻度

頻度12	具体的な絵	頻度14	抽象的な絵
------	-------	------	-------

表7 第3回授業のミニツツペーパーの記述内容

資料番号	表裏面の説明			裏 耳を澄まし、教室の内外から聞こえてくる音のイメージを絵にする
	1	2	3	
1	皆が書いている音	カラス・小鳥の鳴き声、風の音、葉の音	会話、頭突きしてきた音	具 筆記具、鳥、風、葉、人、ギザギザ
2	紙に鉛筆を走らせる音	紙をめくる音	話し声	抽 横直線、横螺旋、逆V文字
3	2号館の講義の声	木が風で揺れている音		具 窓、授業風景、樹木
4	風の音、葉の音、	鳥の鳴き声		抽 横波線、楕円、交差する斜め曲線
5	絵を描く音、文字を書く音			抽 短い斜め直線
6	シャーペンの「カッカッ」という音			抽 密度の濃い薄いのある点
7	さわやかな風	揺れる木の音	他教室の授業の声	具 窓、樹木
8	空調の音	運動部の男子の声		抽 放射状に広がる曲線、短いギザギザ
9	周りのうるさいガヤガヤ	だんだん静かになる		抽 四隅に波線、中央に渦巻き
10	風の音、外の人たちの声	外にいる人たちの出す音		抽 斜め曲線、蛇行曲線、三角、四角
11	紙に字を書く音			具 紙、ペン
12	外の風の音	葉っぱの音の演奏		具 雲の風を吹きだす顔、葉の笑顔と音符
13	鳥のさえずり	葉の揺れる音		具 樹木、葉のついた枝に止まる小鳥
14	話し声	風の音、風に揺れる葉		抽 細かい波線、大まかな波線
15	シャーペンの「コンコン」という音	何かを描いている音	紙がめくれる音	抽 丸、短い縦線、波線、四角
16	ヒソヒソ話し声			具 女性2人、厚生労働省告示第117号平成30年4月1日
17	シャーペンで文字を書く音			具 紙、鉛筆
18	換気扇の音			抽 カクカク折れて繋がる直線
19	風の音	ペンと紙の音	筆箱にしまう音	抽 斜め曲線、星型、点、Z
20	部活の声と笛の音	ペンを押す音		抽 小さい丸、Z状直線、V
21	春の夕方肌寒い風	木や葉が風で揺れている	鳥たちは、夕日を背に会話しながら飛ぶ	具 太陽、樹木、鳥に音符、波型の曲線
22	シャーペンの音	プリントをめくる音		具 紙と鉛筆

23	笑い声			具 笑った顔 HAHAHA
24	ペンをトントンとする音	風と木の音		抽 曲線、笑、海草のような曲線、直線、ろ
25	風で木が揺れる音	話し声	シャーペンのコツコツした音	抽 小楕円、吹きだし、多角形
26	天気が良くて強い風	木が揺れ、鳥が鳴き	外で遊ぶと気持ちよさそう	具 太陽、樹木、飛ぶ小鳥、波型の曲線

(4) 第4回（5月2日）のミニツツペーパーの記述内容

第4回授業時のミニツツペーパーの記述内容は、「表9」のとおりである。当日の授業において、研究参加同意書を提出した学生の内、6名が欠席したので、資料番号は、22までである。

「五十音の好きな行の音から感じるイメージを絵にする」という課題であった。五十音の子音から受けるイメージ、発音時の舌、歯、口の状態や息の流れから感じるイメージ、音から具体的なモノやコトを連想したイメージ等々、多彩なイメージを学生は示した。描かれた絵は、具象画も抽象画もあったが、どれもイメージを絵にしていた。

この回から、イメージを表した絵をシェアし、その感想を記す課題を加えた。学生は、同じ行を選び同じ音からのイメージを表しても、発想の違いで全く違った表現を目にするという体験をした。発想の多様性、表現の多様性を実感できたようであった。

描かれた絵はいずれもイメージを表したものであったが、描かれた絵の「具象的な絵」と「抽象的な絵」の頻度は、「表8」のとおりである。

表8 「具象的な絵」と「抽象的な絵」の出現頻度

頻度10	具象的な絵	頻度12	抽象的な絵
------	-------	------	-------

表9 第4回授業のミニツツペーパーの記述内容

資料番号	表		裏 五十音の好きな行の音から感じるイメージを絵にする
	裏面の説明	シェアの感想	
1	かきくけこ 角張った感じを表現とげとげしい感じ		抽 V、四角、く、短い直線
2	かきくけこ 角がある、超音波、くるくる、ひろがる、口がすぼまる	比較的同じようなイメージを持っていた	抽 星、波線、横螺旋、放射線状に広がる直線、丸
3	わをん ひらがなの最後「あ」から走り始めてゴールなイメージ	言われたらなるほどと思った	具 ゴールに走りこむ丸
4	さしすせそ 切れる音、空気が漏れる、空気が通る、エアコン、小穴から大量の風	「ま」のイメージが同じだった	抽 曲線、ギザギザ、円の中心から放射線状の直線
5	はひふへほ 冷たい、強いエネルギー、そよ風、先に伸びる、オレンジ	それぞれ個性があって面白い	抽 雲、放射線状の直線、横螺旋、横平行線、花形の丸
6	らりるれろ 言うときの口の形と舌の形	あかさたなでこんなに音の表現ができると思った	具 発音するときの口と舌の絵
7	ばびぶべぼ 音がはねているようなイメージ	同じ音を選んでもイメージするものが違って面白い	具 飛び跳ねる音符
8	ん 何でも直進する	一人ひとり個性が豊か	抽 4本の縦線
9	ばびぶべぼ 爆発したり大きな音	軽くてやわらかそうな絵だった	具 ピストル、アカンペーの顔、拡声器、フライパン
10	がぎぐげご 口に出して頭に浮かんだイメージ	音を表現するのは一人ひとり違って面白い	抽 カクカク折れる直線が放射線状に広がる
11	まみむめも ふにゃふにゃ、ぐにゃぐにゃ	柔らかい音を曲線、濁音は直線や折れ線が多かった	抽 ちぎれて浮かんでいる雲のようなもの

12	ばびぶべぼ かわゆくフワフワして いてリズムが良い	人毎や行毎で、表現が違って面白かった	抽 花形の丸に音符
13	さしすせそ 流れるイメージ、川や 風	一緒のような感じや、自分にはそんな考えはないと感じたり	抽 横螺旋、直線、星、波線、さしすせそ
14	らりるれろ 鈴がリンリン鳴って大 きな声で歌っている		具 鈴、大声で歌ってる人の顔、音符、星
15	らりるれろ	情景が浮かんできた、	具 らくだ、星、丸、音符
16	たちつと スキップしている感じ	文字から連想したり、発音から考えてあったり	具 スキップしている人、音符
17	まみむめも まーるくこもった感じ	いろんなイメージがあり、なるほどと思った	抽 縦波線、渦巻き
18	ばびぶべぼ パーンと爆発したイ メージ	行からイメージしたり、音や統一感から描いた人もいた	抽 中央から四方八方に細かい波線が広がる
19	あいうえお あいうえおという と明るい感じがした	想像力が豊かで、みんな違って面白い	具 あいうえおと書かれた太陽、くも
20	ばびぶべぼ 黴菌みたい、闇が深そ う	絵が上手すぎて、自分のイメージがボンコツに思えた	具 バイキンマンのイラスト
21	がぎぐげご 濁音の強い音の感じ	人によって、いろんな表現がある	抽 折れ線の目立つ雲のような感じ
22	わ行 雰囲気緩和な感じ	な行、さ行はすぐ分かった、ら行は難しかった	具 鳥居、太鼓、団子

(5) 第5回(5月9日)のミニツツペーパーの記述内容

第5回授業時のミニツツペーパーの記述内容は、「表11」のとおりである。当日の授業において、研究参加同意書を提出した学生の内、1名が欠席したので、資料番号は、27までである。

「教室の窓を開け、木々の緑と5月の風を感じる。その緑と風から感じたものを樹木そのものではない何かの絵で表す」という課題をだした。

「何かの絵で表す」という課題であったので、5月らしい具象画(例えば、こいのぼり)を描く学生が多かった。実際の「5月の風」というよりも、「5月の風」ということばから来るイメージで描いた学生もいたであろう。5月の連休明けの授業であったためか、「5月病」を表した学生もいた。シェアの感想の中で、その「暗い風」の表現に驚きの感想が上がっていた。

上記したように、ほとんどの学生は、具象的な絵を描いていたが、抽象的表現をしていた少数の学生がいた。その頻度は、「表10」のとおりである。

表10 「具体的な絵」と「抽象的な絵」の出現頻度

頻度23	具体的な絵	頻度4	抽象的な絵
------	-------	-----	-------

表11 第5回授業のミニツツペーパーの記述内容

資料番号	表		裏 教室の窓を開け、木々の緑と5月の風を感じる。その緑と風から感じたものを樹木そのものではない何かの絵で表す
	裏面の説明	シェアの感想	
1	そよ風で葉が飛んでいるイメージ	センスがあふれていた、たんぽぽの綿毛で季節感	具 風と葉
2	5月の風は、4月の風より温かい感じがして、みずみずしいさわやかな風	全然違う絵だったが5月の風のイメージにぴったり	具 太陽、こいのぼり、花、喋々
3	子どもたちが公園で遊んでいる時に、地面の草花が揺れる	花や葉が揺れイメージが描かれていて、分かりやすかった	具 ブランコ、太陽、ボールあそび、揺れる草花
4	5月の風 今日風は冷たく真っ直ぐな感じ	季節のものを書いていたが、自分はビル風を感じた	具 大都会のビル群、その間を縫うような風
5	湿っていて涼しげ、優しかったり強かったり、霧がかかっている	皆のイメージは明るい、自分は暗いイメージ	具 様々な螺旋の中に舞う葉

6	5月病と思うくらい気持ちが下がっている、5月の風はいい感じがしない	元気なこいのぼり、男の子がんばれと思った	具 こいのぼり、鯉も竿も風で波打っている
7	咲き始めたお花畑のにおいが風とともに香る	すごく共感するものばかり、風の感じ方も人それぞれ	具 風の中に花が咲いている
8	温かく、柔らかな風		具 太陽、先が渦巻きの曲線
9	風が吹くたびに葉っぱが散っていく	朝と夜を1場面に描いたり、こんな表現もあるのかと	具 横螺旋、風の中を舞う葉
10	柔らかな優しいような感じで、軽く頭をなでられる	その人らしい個性	具 太陽、手のような風がふいている
11	花がゆれてにっている	みんな同じような絵で、感じることは一緒	具 太陽、雲、揺れる花
12	強くなろうとする男の子を周りが応援している	こいのぼりで、5月病をイメージして面白	具 太陽、こいのぼり、男の子、ガンバレ、短い螺旋
13	家の周りの田んぼに風が吹く、草と草がこすれあう音	身近な風景や想像の風景など人それぞれ	具 風に揺れる草
14	新緑の葉っぱと金木犀とかの花のにおい	線の描き方でいろんなタイプの風がされていた	具 ゆったりした波線、波線の中を漂う花と葉
15	温かく優しい、命を作り出す 生き物や植物が楽しそう	話を聞くと納得するものあり、面白かった	具 太陽、雲、川、魚、花、喋々
16	5月のさわやかな風を感じて少し寂しい気持ち		具 雫、葉、短い縦線、口を結んだ女の子
17	お花が風で左右に揺れている、タンポポの綿毛が飛んでいく	同じことを思っていてすごいと思った	具 薄いくの字の曲線、揺れる花、タンポポの綿毛
18	5月の風は、春と夏が混ざっている		具 窓に曲線、直線、葉が集まり近づく
19	青い空の中さわやかな風にこいのぼりや草花が揺れる	一人ひとり、同じ鯉のぼりでも感じ方が違って面白	具 こいのぼり、雲、花
20	5月にしては、湿っぽく寒さを感じる、風が弱く寒い	絵のイメージが暗いのがあった、夏に差し掛かる時の風とは思えない風の絵	抽 何重丸、丸の中に手を組んだような曲線
21	緑のきれいな木、揺れる葉、優しいさわやかな風	日差しや夜の風、一日を通したイメージ	抽 渦巻き、葉、点
22	心地よい冷たい風、古い空気が入れ替わる、すがすがしい	風で草がこすれあう音の表現、春らしい表現	具 窓、曲線、細かい直線、星
23	花の香り、喋々もおいしそうに蜜を吸う	一つのテーマで違うイメージ、それぞれの表現力	具 太陽、風の曲線、蝶、花
24	風は少し強く生暖かい風、かぜが髪をぼさぼさにする	今日のみきちゃんの絵がかわいかった	具 樹木、髪が乱れた女の子、風の曲線
25	涼しさの中にもまだ暖かさがのこっている、新しい環境に慣れようとしている	人それぞれの風の捉え方がある	抽 ゲジゲジ折れ線、短い螺旋
26	穏やかな風、時々強い風、多方向から吹く風	花とか草は想像しなかった、人それぞれ	抽 波曲線、横直線、短い螺旋
27	じめじめして爽やかでない、暑くも寒くもない、梅雨	夏のように感じる人もいて人それぞれ	具 雲、雫、曲線、傘、人

発想力、受容力、想像力、創造力のウォーミングアップを狙ったミニツツペーパーの記述内容は以上である。学生の提出物を見ると、飛躍的に発想力、受容力、想像力、創造力がアップしたとはいえないが、頑なさは薄れたように感ずる。同じ課題を周囲の学生とシェアすることで、自分とは違う発想や表現に触れることができた。その経験を通して、表現の多様性を少なからず体感できたのではないかと思う。

各授業で、「具体的な絵」と「抽象的な絵」に分けて、その頻度を示したのは、次の理由による。「抽象的な絵」は、具体的なものの形や具体的なことばから、開放された表現という見方もできる。抽象表現の方が発想力、受容力、想像力、創造力がついているというわけではないが、ひとつの尺度となり得るのではないかと頻度を示した。

5. ミニツツペーパーの活用

今回使用したミニツツペーパーは、印刷室に用意されていたB6版大の用紙である。表には、「平成 年 月 日（ ） 限目」「科目」「年 クラス」「学籍番号」「氏名」が書き込める欄があり、15行の横罫がプリントされている。裏は白紙である。少ない時間で書き込める大きさであるため、毎回の課題に対する学生の負担は少ない。

無記名のアンケートではないので、学生は真に思うところを吐露するのではなく、授業者の意図するところ、つまり授業者が喜ぶだろうと思うことを毎回書いていと推察する。授業者は、ミニツツペーパーを読むことで、授業者の意図していることが伝わっているかどうか、それを判断でき、非常に重宝である。意図が伝わっていることと、学生が納得し共感できていることとは違う。学生の納得度、共感度を知ることとは、上記の方法では難しい。

6. 今後の課題

今後も、授業者の意図を伝えられているかを計る尺度として、また、発想力、受容力、想像力、創造力のウォーミングアップの媒体として、ミニツツペーパーを活用していきたい。今年度は、これらのウォーミングアップについては、シラバスに明記してなかった。今後は、シラバスに明記して、より効果的な課題内容を求めて精査していく。加えて、学生の真の理解度、納得度、共感度は如何にしたら知ることができるかを考えたい。

平成29年3月31日に、新しい「保育所保育指針」「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」が告示された。それ以前よりも、保育者の「指導技術」に関する授業内容の充実が求められている。それに対応するための研究も行って行きたい。

参考文献

- 井口太、2015、新・幼児の音楽教育、朝日出版社
今井真理、2016、保育の表現技術実践ワーク、保育出版社
内閣府 厚生労働省 文部科学省 告示、2017、幼保連携型認定こども園教育・保育要領
厚生労働省告示、2017、保育所保育指針
文部科学省公示、2017、幼稚園教育要領
鈴木恵津子、2014、改訂つくっておどっておもちゃ箱1、教育芸術社
鈴木恵津子、2014、改訂つくっておどっておもちゃ箱2、教育芸術社
高御堂愛子、2017、保育者をめざす楽しい音楽表現、圭文社
田澤里善、2014、表現の指導法、玉川大学出版部
吉永早苗、2016、子どもの音感受の世界、萌文社
幼少年教育研究所、2010、新版遊びの指導、乳幼児編、同文書院
全国社会福祉協議会・全国保育士会、2000、ハンディ保育所保育指針、全国社会福祉協議会・全国保育士会